

調査資料報

令和元年11月

資料

令和元年 11 月補正予算（案）の概要

特集

平成 31 年 2 月 22 日開催、第 13 回全国都市改善改革実践事例発表会の改善事例について

長崎市議会事務局

目 次

◎資料 令和元年 11 月補正予算（案）の概要

- ・ 令和元年度各会計別予算額調（令和元年 11 月議会）・・・・・・・・ 1
- ・ 令和元年 11 月市議会定例会・補正予算（案）の主な内容・・・・ 2

◎特集 平成 31 年 2 月 22 日開催、第 13 回全国都市改善改革実践事例発表 会の改善事例について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

◎議長会等の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

◎委員会だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

◎図書室だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

長崎市の人口・面積（前年との比較）

	令和元年 11 月 1 日	平成 30 年 11 月 1 日	増 減
人 口	411,090 人	416,351 人	▲5,261 人
男	189,156 人	191,990 人	▲2,834 人
女	221,934 人	224,361 人	▲2,427 人
世帯数	186,726 世帯	187,709 世帯	▲983 世帯
面 積	405.86 km ²	405.86 km ²	—km ²

※人口、世帯数については推計人口

令和元年度各会計別予算額調（令和元年11月議会）

（単位：千円）

【参考】

会計別	現計予算額		補正額	合計		対当初伸率	対前年度同期伸率	平成30年度 同期予算額 (11月5号補正後)	
	金額	構成比		金額	構成比				
一般会計	219,783,033	59.1	2,625,441	222,408,474	59.1	4.3	0.2	221,868,165	
特別会計	観光施設事業	395,602	0.1	12,036	407,638	0.1	3.0	2.5	397,505
	国民健康保険事業	55,403,818	14.9	4,423	55,408,241	14.7	0.0	▲0.1	55,476,578
	土地取得	1,493,307	0.4	-	1,493,307	0.4	-	▲83.9	9,288,237
	中央卸売市場事業	307,576	0.1	-	307,576	0.1	-	38.1	222,708
	駐車場事業	449,226	0.1	0	449,226	0.1	-	4.2	431,213
	財産区	36,759	0.0	6,323	43,082	0.0	17.2	▲36.6	67,984
	母子父子寡婦福祉 資金貸付事業	50,747	0.0	-	50,747	0.0	1.1	▲39.4	83,699
	介護保険事業	45,897,893	12.3	1,889,526	47,787,419	12.7	4.4	2.2	46,749,088
	生活排水事業	554,473	0.1	-	554,473	0.1	-	2.8	539,266
	診療所事業	348,151	0.1	774	348,925	0.1	0.2	2.8	339,337
	後期高齢者医療事業	5,637,182	1.5	-	5,637,182	1.5	-	2.7	5,490,024
	長崎市立病院機構 病院事業債管理	888,904	0.2	-	888,904	0.2	-	▲60.1	2,227,630
	小計	111,463,638	30.0	1,913,082	113,376,720	30.1	1.8	▲6.5	121,313,269
公営企業会計	水道事業	18,164,566	4.9	0	18,164,566	4.8	0.5	8.2	16,787,494
	下水道事業	22,360,111	6.0	-	22,360,111	5.9	▲5.3	▲1.5	22,699,299
	小計	40,524,677	10.9	0	40,524,677	10.8	▲2.8	2.6	39,486,793
合計	371,771,348	100.0	4,538,523	376,309,871	100.0	2.8	▲1.7	382,668,227	

令和元年11月市議会定例会・補正予算（案）の主な内容

I 一般会計予算

2,625,441 千円

事業名	補正額 (千円)	内 容	担当課
2 款 総 務 費 1,651,486			
1 基金積立金 財政調整基金	1,158,747	一般会計の平成30年度決算剰余金の一部を積み立てるもの。 当初予算額 3,276千円	財産活用課 財政課
2 財産管理費 建物等維持補修費	15,732	市有施設の改修に係る経費を増額するもの。 ・ブロック塀の撤去改修 ・議会棟喫煙室改修 現計予算額 98,533千円	財産活用課
3 政策推進費 マイキーID設定支援費	13,351	国において、消費税率引き上げに伴うマイナンバーカードを活用した消費活性化策を実施するにあたり、ポイント利用に必要となるマイキーID設定の支援を行うもの。 ・マイキーID設定支援員の配置 ・周知広報	都市経営室
4 情報システム推進費	22,732		情報システム課
(1) ICT活用業務効率化推進費	7,167	更なる市民サービス向上や職員の勤務環境の改善を図るため、業務効率化のためのICT活用を実施するもの。	
(2) 基幹業務系システム運営費	15,565	マイナンバー情報連携項目の追加に伴い、統合宛名管理基盤及び税系システムの改修に係る経費を増額するもの。 当初予算額 381,204千円	
5 国・県支出金等返還金	440,924	過年度事業費の確定等に伴う国・県支出金返還金。 ・原爆被爆対策部 90,411千円 ・福祉部 206,833千円 ・市民健康部 10,559千円 ・こども部 93,870千円 ・中央総合事務所 39,251千円	原爆被爆対策部 福祉部 市民健康部 こども部 中央総合事務所
3 款 民 生 費 310,345			
6 地域生活支援費 移動支援費	8,608	障害者の移動支援において、利用者数の増加などから当初の見込みを上回る給付費について増額するもの。 当初予算額 122,867千円	障害福祉課
7 障害者保健医療対策費 更生医療給付費	68,846	障害者の更生医療において、給付件数の増加などから当初の見込みを上回る給付費について増額するもの。 当初予算額 917,757千円	障害福祉課

事業名	補正額 (千円)	内 容	担当課
8 高齢者施設福祉費 高齢者施設開設準備費補助金	12,000	高齢者施設開設準備経費の一部について、小規模多機能型居宅介護事業所分を助成するもの。 【小規模多機能型居宅介護事業所】 ・西町 (1施設) 令和2年12月開設予定 ・高島町 (1施設) 令和2年7月開設予定	福祉総務課
9 【単独】高齢者福祉施設整備事業費補助金 小規模多機能型居宅介護事業所	64,000	小規模多機能型居宅介護事業所の施設整備に対し助成するもの。 ・西町 (1施設) 定員：登録29人、通い18人、泊まり9人 ・高島町 (1施設) 定員：登録18人、通い12人、泊まり6人	福祉総務課
10 子育て支援環境整備費	22,833		幼児課
(1) 特定教育・保育施設等実施事業費補助金	4,971	延長保育を実施する保育所等に対する補助金について、事業に係る補助基準額の改定に係る経費を増額するもの。 当初予算額 156,984千円	
(2) 一般型一時預かり費補助金	1,953	就学前児童（非在園児）の一時預かりを実施する保育所等に対する補助金について、事業に係る補助基準額の改定に係る経費を増額するもの。 当初予算額 39,376千円	
(3) 幼稚園型一時預かり費補助金	15,909	教育時間終了後の在園児預かりを実施する幼稚園等に対する補助金について、新たに開所時間が長い施設等に加算する制度が追加されたため、その経費を増額するもの。 当初予算額 58,693千円	
11 ひとり親家庭福祉推進費 児童扶養手当費	46,089	児童扶養手当において、延受給者数の増加から、当初の見込みを上回る給付費を増額するもの。 当初予算額 2,595,858千円	子育て支援課
12 母子生活支援施設費 広域入所費	5,343	市外の母子生活支援施設入所に係る経費について、入所世帯数の増加などから、当初の見込みを上回る経費を増額するもの。 当初予算額 10,397千円	子育て支援課
13 事務費 生活保護費事務費	2,585	マイナンバー情報連携項目の追加に伴い、システムの改修に係る経費を増額するもの。 当初予算額 82,862千円	中央総合事務所 生活福祉1課
14 原爆被爆者特別援護費 健康管理等手当費	80,041	医療特別手当において、支給件数の増加などから当初の見込みを上回る支給額を増額するもの。 当初予算額 12,817,758千円	援護課
4 款 衛 生 費	105,260		
15 地方独立行政法人長崎市立病院機構費 運営費負担金	8,900	長崎みなとメディカルセンターにおける救命救急センターの開設に向け、新たに見込まれる法人の収入のみをもって充てることが適当でない経費に対する負担金を増額するもの。 当初予算額 819,061千円	地域医療室

事業名	補正額 (千円)	内 容	担当課
16 【単独】民間病院施設整備事業費補助金 病院群輪番制病院	55,786	長崎医療圏の病院群輪番制病院の医療機器整備に対して助成するもの。 ・対象施設 3施設	地域保健課
17 地球温暖化対策推進費 地域エネルギー事業体出資金	17,500	再生可能エネルギーの地産地消によるCO ₂ 削減と、新たな脱炭素事業の創出を図るため、自治体が関与する地域エネルギー事業体を設立するために出資するもの。	環境政策課
18 繰出金 診療所事業特別会計繰出金	774	診療所事業特別会計において過年度事業費確定に伴う県支出金返還金に係る繰出金を増額するもの。 ・池島診療所分 546千円 ・小口診療所分 228千円 当初予算額 197,308千円	池島診療所 小口診療所
19 繰出金 水道事業会計繰出金	22,300	水道管路耐震化事業について、繰出基準が改正されたことに伴い、水道事業会計への出資金に係る繰出金を増額するもの。 当初予算額 521,960千円	上下水道局 経理課
6 款 農林水産業費	898		
20 【補助】農業振興施設整備事業費補助金 農業用ハウス等	898	令和元年9月の台風17号により被害を受けた農業用施設の修繕に係る経費の一部を助成するもの。 ・対象戸数 3戸 (輪菊：1戸、草花：1戸、畜産：1戸)	農林振興課
7 款 商 工 費	2,400		
21 観光施設管理運営費 長崎（小島）養生所跡資料館開設準備費	2,400	令和2年4月の資料館開館に向け、来館者を適切に誘導するためのサイン整備及びリーフレット作成等を実施するもの。	文化財課
8 款 土 木 費	2,952		
22 市営住宅管理費 管理事務費	2,952	令和2年4月から全市域の市営住宅を指定管理者制度とすることに伴い、市営住宅指定管理者事務所を設置するための経費を増額するもの。 ・設置場所 南総合事務所、三重地域センター 当初予算額 45,658千円	住 宅 課
10 款 教 育 費	516,900		
23 【補助】小学校整備事業費 大規模改造	53,100	国庫補助の追加内示に伴い、外壁の劣化が著しい小学校について、外壁改修に係る工事費を増額するもの。 ・対象校 小学校 2校 現計予算額 426,700千円	教育委員会 施設課

事業名	補正額 (千円)	内 容	担当課
24 【単独】小学校整備事業費	19,600		教育委員会 施設課
(1) 分析究理所遺構整備	6,100	仁田佐古小学校建設地の小島養生所跡関連遺跡である分析究理所遺構を保存・活用するため、整備に係る設計を実施するもの。	
(2) 諸工事	13,500	国庫補助の追加内示により外壁改修工事を実施することになった小学校について、屋上防水工事を併せて実施する工事費を増額するもの。 ・対象校 小学校 1校 現計予算額 51,200千円	
25 【補助】中学校整備事業費 大規模改造	220,600	国庫補助の追加内示に伴い、外壁の劣化が著しい中学校について、外壁改修に係る工事費を増額するもの。 ・対象校 中学校 4校 現計予算額 148,800千円	教育委員会 施設課
26 【単独】中学校整備事業費	103,800		教育委員会 施設課
(1) 大規模改造	84,000	国庫補助の追加内示により外壁改修工事を実施することになった中学校について、屋上防水工事を併せて実施する工事費を増額するもの。 ・対象校 中学校 2校 現計予算額 32,000千円	
(2) 諸工事	19,800	国庫補助の追加内示により外壁改修工事を実施することになった中学校について、屋上防水工事を併せて実施する工事費を増額するもの。 ・対象校 中学校 1校 現計予算額 6,300千円	
27 【単独】恐竜博物館整備事業費 恐竜博物館建設	119,800	現在建設中の恐竜博物館において、土質調査の結果に基づき杭工事費を追加するとともに、一部2階設置や1階通路の拡幅による増床等に係る工事費を増額するもの。 現計予算額 589,200千円	恐竜博物館 準備室
11 款 災害復旧費	35,200		
28 【単独】林業施設災害復旧費 過年度災害分	20,000	地すべり状況の経過観察を行っていた森林基幹道西彼半島線において、再度地すべりが確認されたことから、国の災害認定に必要となる対策工事に係る調査設計を実施するもの。	北総合事務所 地域整備課
29 【単独】水産業施設災害復旧費 現年度災害分	7,200	令和元年9月の台風17号により被害を受けた牧島水産センターの施設について、災害復旧を実施するもの。 ・被災施設 ウニ飼育棟 ・被災内容 テント部破損	水産センター
30 【単独】公園災害復旧費 現年度災害分	8,000	令和元年7月の台風5号により被害を受けた公園施設について、災害復旧に要する工事費が不足するため増額するもの。 ・被災施設 鼠島公園 ・被災内容 園路法面崩落 予算現額 2,900千円	中央総合事務所 地域整備1課

※ 一般会計の繰越明許費は、「財産管理費 建物等維持補修費」など49件を計上。

Ⅱ 一般会計継続費

299,400 千円

事業名	補正額 (千円)	内容	担当課
1 恐竜博物館整備事業 恐竜博物館建設	299,400	杭工事費を追加するとともに、一部2階設置や1階通路の拡幅による増床等に係る工事費の増額に伴い、継続費を増額するもの。 ・継続費総額 (変更前) 1,797,640千円 (変更後) 2,097,040千円	恐竜博物館 準備室

Ⅲ 一般会計債務負担行為

10,543,109 千円

事業名	限度額 (千円)	内容	担当課
1 三重地区市民センター指定管理	34,870	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	北総合事務所 地域福祉課
2 長崎ブリックホール指定管理	1,462,355	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	文化振興課
3 チトセピアホール指定管理	73,200	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	文化振興課
4 長崎ペンギン水族館指定管理	409,895	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	水産農林政策課
5 東京2020オリンピック聖火リレー 広報委託	2,473	東京2020オリンピック聖火リレーの広報委託 に係るもの。 設定期間 令和元年度～令和2年度	スポーツ振興課
6 東京2020オリンピック聖火リレー 警備委託	8,849	東京2020オリンピック聖火リレーの警備委託 に係るもの。 設定期間 令和元年度～令和2年度	スポーツ振興課
7 老人福祉センターあじさい荘指定管理	49,075	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	中央総合事務所 総務課
8 老人福祉センターわかな荘指定管理	46,860	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	中央総合事務所 総務課
9 老人福祉センターすみれ荘・ 老人憩の家舞岳荘指定管理	78,085	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	中央総合事務所 総務課
10 老人福祉センターしらゆり荘指定管理	43,900	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	南総合事務所 地域福祉課
11 老人憩の家ひまわり荘指定管理	37,235	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	中央総合事務所 総務課
12 老人憩の家つばき荘指定管理	37,290	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	中央総合事務所 総務課
13 老人憩の家つつじ荘指定管理	32,701	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	中央総合事務所 総務課

事業名	限度額 (千円)	内容	担当課
14 老人憩の家舞の浜荘指定管理	27,725	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	北総合事務所 地域福祉課
15 老人憩の家式見荘指定管理	31,395	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	中央総合事務所 総務課
16 老人憩の家香焼ひまわり指定管理	54,545	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	南総合事務所 地域福祉課
17 老人憩の家池島荘指定管理	19,080	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	北総合事務所 地域福祉課
18 白菊寮指定管理	124,270	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	子育て支援課
19 原子爆弾被爆者健康管理センター指定管理	1,408,516	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	調査課
20 高島いやしの湯指定管理	235,216	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	南総合事務所 地域福祉課
21 健康づくりセンター指定管理	246,825	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	南総合事務所 地域福祉課
22 道の駅夕陽が丘そとめ指定管理	27,500	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	水産農林政策課
23 公益社団法人長崎県林業公社分収造林事業 資金の長崎県に対する損失補償	長崎県の損失発生額に2万分の1,065を乗じた額	長崎県が行う損失補償契約に係るもの。 設定期間 令和元年度～令和12年度	農林振興課
24 体験の森指定管理	106,920	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	水産農林政策課
25 飛島磯釣り公園指定管理	59,975	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	水産農林政策課
26 高島海水浴場・高島ふれあいキャンプ場 指定管理	51,147	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	水産農林政策課
27 市民生活プラザ指定管理	9,100	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	商工振興課
28 軍艦島資料館指定管理	2,655	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度	観光政策課
29 築町二輪車等駐車場指定管理	4,665	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	土木企画課
30 都市計画街路整備事業 (銅座町松が枝町線)	144,000	都市計画街路銅座町松が枝町線の補償契約に係るもの。 設定期間 令和2年度	土木建設課

事業名	限度額 (千円)	内 容	担当課
31 稲佐山公園指定管理	322,300	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	中央総合事務所 地域整備1課
32 長崎東公園指定管理	482,580	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	東総合事務所 地域整備課
33 長崎市総合運動公園指定管理	514,000	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	中央総合事務所 地域整備1課
34 長崎公園指定管理	94,255	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	中央総合事務所 地域整備2課
35 野母崎総合運動公園指定管理	19,755	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度	南総合事務所 地域整備課
36 市営住宅指定管理（A地区）	1,128,146	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	住 宅 課
37 市営住宅指定管理（B地区）	1,364,000	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	住 宅 課
38 北公民館指定管理	151,800	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	北 公 民 館 中央総合事務所 総 務 課
39 科学館指定管理	720,000	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	生涯学習課
40 諏訪体育館指定管理	27,197	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	スポーツ振興課
41 市民総合プール指定管理	819,550	指定管理者制度による管理運営に係るもの。 設定期間 令和2年度～令和6年度	スポーツ振興課
42 林道大崎線災害復旧事業	29,204	林道大崎線の災害復旧事業に係るもの。 設定期間 令和2年度	南総合事務所 地域整備課

IV 特別会計予算

1,913,082 千円

事業名	補正額 (千円)	内 容	担当課
1 観光施設事業特別会計	12,036		観光政策課
(1) ロープウェイ事業管理費	12,036		
基金積立金 観光施設整備基金	12,036	観光施設事業特別会計の平成30年度決算剰余金を 基金に積み立てるもの。 ・ロープウェイ事業分 12,036千円 当初予算額 1千円	

事業名	補正額 (千円)	内 容	担当課
2 国民健康保険事業特別会計	4,423		国民健康保険課
事業勘定	4,423		
(1) 総務費	4,423		
一般管理費事務費	4,423	マイナンバーカードによるオンライン資格確認等に対応するためのシステムの改修に係る経費を増額するもの。 当初予算額 93,134千円	
3 財産区特別会計	6,323		財産活用課
(1) 財産管理費	6,323		
財産管理費交付金	5,580	水の浦郷財産区における駐車場整備及び下郷財産区における墓地法面修繕に係る交付金を増額するもの。 当初予算額 15,893千円	
訴訟委託費	743	水の浦郷財産区における建物収去土地明渡訴訟に係る弁護士への成功報酬を支出するもの。	
4 介護保険事業特別会計	1,889,526		介護保険課
(1) 基金積立金	1,148,841		
介護保険財政調整基金積立金	1,148,841	介護保険事業特別会計の平成30年度決算剰余金の一部を基金に積み立てるもの。 当初予算額 290千円	
(2) 諸支出金	740,685		
保険料還付金 第1号被保険者保険料還付金	3,606	過年度の保険料に係る還付金が、当初の見込みを上回るため増額するもの。 当初予算額 10,000千円	
償還金 国庫支出金等過年度分返還金	737,079	過年度事業費の確定に伴い国・県支出金を返還するもの。 現計予算額 143,808千円	
5 診療所事業特別会計	774		
(1) 諸支出金	774		
国庫支出金等過年度分返還金	774	過年度事業費の確定に伴い県支出金を返還するもの。 ・池島診療所 546千円 ・小口診療所 228千円	池島診療所 小口診療所

特集 平成31年2月22日開催、第13回全国都市改善改革実践事例 発表会の改善事例について

本特集は、平成31年2月22日に愛知県豊橋市で開催された「第13回全国都市改善改革実践事例発表会」で発表された業務改善内容について、本市を除く市町村26市を調査対象として、調査照会し、その概要をまとめたものです。

番号	都市名	テーマ	ページ
1	北上市（岩手県）	市内のイベントにひよっこり参加！ ～効率的な火災予防PR大作戦～	11
2	山形市（山形県）	ベニちゃんバスのリニューアル&PR大作戦～利用者42万7千人への挑戦～	12
3	酒田市（山形県）	『さかたまっぷ』を使い倒した(活用した)水田転作地確認作業における改善事例	13
4	郡山市（福島県）	事務を効率化して保健師・栄養士の本来業務にシフト！！	14
5	新潟市（新潟県）	職員採用試験の申込みをスマホから可能に！	15
6	燕市（新潟県）	データは嘘をつかない—佃品質×燕品質—	16
7	さいたま市（埼玉県）	～ひとりで抱え込まないで～ シェア(share)ボックス	17
8	所沢市（埼玉県）	全国初。マンホール広告、始動。～笑顔を創る!!所沢PRIDE～	18
9	川崎市（神奈川県）	“ゼロ”円「消防広報」～中原消防署は地域の皆さんから大人気!?～	19
10	相模原市（神奈川県）	清掃工場から発生する 焼却灰の直接埋立ゼロへ	20
11	名古屋市（愛知県）	災害時の初動対応	21
12	一宮市（愛知県）	定形外郵便物の料金値上げへの対応	22
13	豊橋市（愛知県）	3Wによる好循環成長モデルの風土化	23
14	春日井市（愛知県）	窓口業務お助けアイテムの作成	24
15	東近江市（滋賀県）	ふくそーのお客様対応大作戦！	25
16	高島市（滋賀県）	再利用で火災ゼロ	26
17	京都市（京都府）	若者たちの野望～文化と働き方改革～	27
18	大東市（大阪府）	BINGOでポジティブシンキング	28
19	尼崎市（兵庫県）	官民商連携でのアプリ開発による自転車マナー向上の取り組み	29
20	丹波篠山市（兵庫県）	丹波篠山カイゼン自慢	30
21	岩国市（山口県）	Let's try it! ～英語でスムーズ、犬の登録～	31
22	北九州市（福岡県）	教職員用WEBサイト『kitaQせんせいチャンネル』による効果的・効率的な人材育成と業務改善	32
23	久留米市（福岡県）	無償で作成！「ごみ分別辞典」を久留米市全域に。	33
24	大分市（大分県）	未来のカイゼン運動をみんなで考えてみた ～OITAカイゼンサミット2019から得たもの～	34
25	都城市（宮崎県）	三セクフェニックスプロジェクト	35
26	出水市（鹿児島県）	婚姻・出生届提出時の記念撮影ブースの設置	36

【テーマ】 市内のイベントにひょっこり参加！ ～効率的な火災予防PR大作戦～

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>これまでは、消防フェスタなど、みずから大きなイベントを企画して、火災予防PRを実施してきたが、事前の準備や多くの職員の参加が必要なこともあり、企画が大変だと感じていたため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<p>市内で開催される大きなイベントを事前にリサーチして、職員が積極的に参加し、火災予防PRを実施した。</p>
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<p>次のイベントに参加し、火災予防チラシの配布等のPR活動を実施した。 (1)さくらまつり (2)きたかみ夏油温泉ヒルクライム2018 (3)鬼っジョブ (4)親子の防災マルシェ2018 (5)交通安全防災フェスタ (6)JA農業祭</p>
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<p>最小限の事前準備で、多くの集客が見込まれるイベントに参加することで効率的な火災予防PRを行うことができた。</p>
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>イベント会場で消防や火災予防に興味がない人をどのような方法で注目させるかが課題であり、ゆるキャラ等の着ぐるみ等を活用して集客に努めている。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用：イベント当日の時間外勤務手当 時間：事前の準備に係る時間はほとんどなく、当日の実働時間が主となる。 人員：1つのイベントに2～5名の人員を派遣</p>

山形市(山形県)

【テーマ】 ベニちゃんバスのリニューアル&PR大作戦～利用者42万7千人への挑戦～

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>山形市のコミュニティバス「ベニちゃんバス東くるりん」の運用開始にあわせて、当時市内中心部を走行していた3種類のバスが抱える各課題を解消できると考えたため。 (課題) (1)路線バス(山交バス) 慢性的な運転手不足 (2)100円循環バス(山形商工会議所) 利用者の減少 (3)コミュニティバス(ベニちゃんバス西くるりん)(山形市) 住民からの要望(土日の運行、中心部の利便性向上)</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<p>中心市街地のバス路線を見直し、100円循環バスを廃止してその役割をベニちゃんバス東くるりん及び西くるりんが引き継いだ。 (1)100円循環バス(山形商工会議所)は、廃止。 (2)ベニちゃんバス東くるりん・西くるりん(山形市)は、(1)の役割を引き継ぎ、中心市街地を運行。</p>
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<p>100円循環バスを廃止し、ベニちゃんバスが中心市街地も走るバスとして運用を開始した。さらに、多くの他業種とコラボした周知活動や地元町内会でバスの乗り方教室の実施、路線ごとのイメージカラーの導入やパターンダイヤを採用するなどして利用者の増加を図った。</p>
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな運転手を確保することなくバスを運用できた。 ・東西エリアから中心市街地へのアクセスが向上した。 ・100円循環バスが担っていた中心市街地活性化のための役割をベニちゃんバスが引き継ぎ、中心部のルートを見直したことで収益が向上し、土日の運用が可能となった。 ・年間利用者数が44万人を達成した。
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ベニちゃんバスの認知度不足 ・路線統合に伴う分かりにくさ ・利害関係者の理解
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用: 初年度運行経費 24,000千円、車両購入費(2台)41,000千円 計65,000千円 時間: 1年間 人員: 3人</p>

酒田市(山形県)

【テーマ】 『さかたまっぷ』を使い倒した(活用した)水田転作地確認作業における改善事例

問	内容
今回の提案を行ったきっかけ	酒田市役所庁内における業務改善実践事例発表会において、最優秀審査賞を得たため。
今回の提案の具体的な取り組み内容	統合型GISシステムである「さかたまっぷ」を活用し、水田転作地確認作業の業務負担軽減に取り組んだ。
提案を具体的にどのように実施したのか	事前把握における紙ベースの地図を電子データに変えて取り組んだ。
提案によりどのような効果がでたのか	<ul style="list-style-type: none"> ・紙ベースの地図作成料(300千円程度)が削減された。 ・電子データをそのまま取り込むことができ、作業量が縮減された。(従来は紙ベースの地図に10日間かけて付箋紙で情報を貼り付けていた。) ・現地確認においてもGPS付きの電子地図を活用したことから、迷うことなく効率的に現地に赴くことができた。(1時間当たりの調査件数が12.7→14.6件に向上し、調査時間縮減及び業務効率化につながった。) ・導入した税務課、管理に関わっている情報管理課以外の部署の活用を知ること、全庁的に各部署の活発な活用に向けての刺激になった。さらに業務改善の手法として、他部署の財産やノウハウを活用するという視点を強く持つことができた。
提案を実施するにあたって解決すべき課題	特になし。
提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員	<p>転作確認作業は年に4～5回行っており、それぞれ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備に5日程度(非常勤職員3名) ・現場確認:5日程度(常勤職員と非常勤職員合わせて、4名) ・結果入力:5日程度(常勤職員と非常勤職員合わせて、4名)

【テーマ】 事務を効率化して保健師・栄養士の本来業務にシフト！！

問	内容
今回の提案を行ったきっかけ	保健所地域保健課の保健師・栄養士は、日頃担当業務の事務に追われ、訪問指導等、専門職としての本来業務が十分にできないなど、専門性が発揮できず、仕事へのモチベーションや特定保健指導実施率が低い状況にあったため。
今回の提案の具体的な取り組み内容	自分たちが行っている事務の内容を分析し、特に負担の大きかった医療機関からの電話対応を削減するためのカイゼン策に取り組んだ。
提案を具体的にどのように実施したのか	<ul style="list-style-type: none"> ①検診録用紙の請求を電話からメール・FAXに変更した。 ②肝炎検診の履歴を受診券に記録し、医療機関が市に確認する手間を省略した。 ③医療機関専用の電話回線を設置し、効率的に対応できた。 ④他係の事務職員が、旅費計算等の事務の一部を担当することとした。
提案によりどのような効果がでたのか	<ul style="list-style-type: none"> ①により年間約51時間の削減 ②及び③により年間約269時間の削減見込みである。 課題を共有することで④を実施することができた。
提案を実施するにあたって解決すべき課題	実施に当たっては、削減できた時間を利用し特定保健指導率を上げることができたが、今後も継続できるよう体制について検討が必要である。
提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員	費用:なし 時間:年間320時間 (特定保健指導率を5%上げるため事務を効率化し削減した時間の見込み) 人員:特定保健指導に係る保健師7名及び栄養士1名、事務職1名

【テーマ】 職員採用試験の申込みをスマホから可能に！

問	内容
今回の提案を行ったきっかけ	従来の職員採用試験の申し込みは、郵送やパソコンからの電子申請で受け付けていた。しかし、郵送で届いた書類は、受験票等を作成するために職員が一つ一つ項目を確認しながらデータを入力しなければならない。また、パソコンから申請された書類に関しても他課がシステムの管理を担当していたため、様式の修正などに時間がかかり、システムの不具合等があってもすぐに対応できない課題があったため。
今回の提案の具体的な取り組み内容	職員採用試験の申し込みを、担当課が直接管理できるシステムを利用するとともに、スマートフォンでも申し込み可能とするように改善。
提案を具体的にどのように実施したのか	上記、今回の提案の具体的な取り組み内容と同様。
提案によりどのような効果がでたのか	スマートフォンからの申し込み対応前では、全体の5割が電子申請だったのに対し、対応後は全体の6割が電子申請という結果となった。職員の仕事も効率化が進み、申し込み時期の残業時間が削減できた。
提案を実施するにあたって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の把握 ・現実的な対応策の検討 ・関係各課との調整 ・検証、改修、検証 ・臨機応変な対応
提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員	費用:なし 期間:4～5ヶ月 人員:5人

【テーマ】 データは嘘をつかない—佃品質×燕品質—

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>燕市国民健康保険では、超高齢化社会や医療技術の高度化に伴い、医療費が増大し、財政運営が厳しくなる中、レセプトデータ・特定健診データ・各種保健指導データを組み合わせた「独自のデータベース」を基に分析し、従来の保健事業を見直し、費用対効果を含め、必要な保健事業を検討した。データベースを活かし、効率的で効果的に複数の保健事業を実施しながら、さらなる医療費適正化を推進していたため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<p>データベース分析による対象者を絞った各種保健事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知事業(新潟県内初・H24～) …該当被保険者にジェネリック医薬品差額通知を発送した。 ・胃がん対策事業(新潟県内初・H26～H30) …胃がんリスクABC検診を実施した。 ・残薬対策(節薬(せつやく)バッグ)事業(新潟県内初・H30～) …残薬の誤飲や不適切な服薬による副作用の防止を図るため、薬の飲み残しを入れるための節薬バッグを配布した。
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<p>実施事業の検討段階から医師会と連携体制を構築し、データベースを活かした各種事業の推進における対象者特定のための条件設定や事業評価段階においても、構築した連携体制を活かした医師会との連携により保健事業を推進している。</p>
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知事業 事業開始:平成24年度 普及率51% → 平成31年1月1日現在 普及率78% 事業開始時から医療費ベースの削減効果額累計は約4億円 ・胃がん対策事業 バリウム検診がんの発見率0.1% → 胃がんリスク検診の発見率1.14%(約11倍の差) H27～H28にかけて、胃がん医療費88,000千円から64,000千円へ24,000千円削減
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>各事業の推進においては、医師会との連携体制の構築が必要不可欠である。よって、実施事業の検討から各種事業推進、評価段階までを含めた事業実施に関するPDC Aサイクル全体の運用、特に結果の集約・評価・還元がきちんとできるか、また医師会との連携体制を構築できるかが課題である。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用(各事業のH30決算額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知事業(4,468千円) ・胃がん対策事業(2,122千円) ・残薬対策(節薬(せつやく)バッグ)事業(216千円) <p>時間:各事業ともに事業開始前1～2年程度、医師会や関係機関との協議に時間を要した。 人員:7人(H30時点) ※国保事業全体の取り組みを発表したため、燕市における国保係体制人員数を記入。</p>

【テーマ】 ～ひとりで抱え込まないで～ シェア(share)ボックス

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>南区役所支援課障害福祉係では、障がい者(児)の福祉に関する相談や支援、自立支援医療受給証交付など、多岐にわたる業務を行っている一方で、担当している地区の相談が集中すると、特定の職員に仕事が偏ってしまうことがしばしば発生していた。その結果、一人で抱え込み、時間外勤務をしなければ業務が終わらない状況が増えていたため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<p>10日まで、20日まで、月末までの3パターンの期限に分けた「シェアボックス」と称したレタートレイを課内に配置し、「このままでは一人で終わりそうにない」と判断した人が、依頼票に仕事内容などを書き込んでシェアボックスに入れ、仕事を早く終えた他の職員はその依頼票を確認し、代わりに処理をする。</p>
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<p>上記、今回の提案の具体的な取り組み内容と同様。</p>
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・導入前の平成30年4月に比べ、5、6月の職員間の時間外勤務時間数が平準化。 ・平成29年度と平成30年度の上半期(4～9月)の比較で、時間外勤務時間数を約51時間削減(係内9名合計)。
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>シェアボックスを使おうとする人に偏りが出ているため、「シェアボックスをみんなで活用していこう」といったプラスアルファの声かけが重要である。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用:なし 時間:1時間 人員:1名</p>

所沢市(埼玉県)

【テーマ】 全国初。マンホール広告、始動。～笑顔を作る!!所沢PRIDE～

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>マンホールカードの流行でマンホールがブームになっていることをヒントに、この波に乗り、下水道使用料以外での収益、自主財源の確保につなげるため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<p>市道(歩道)にあるマンホールを有料広告として活用することで、掲載企業から広告料を得た。</p>
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署との調整(景観条例、道路交通法、マンホール製造メーカーなど) ・掲載内容の検討(企業からの申込～掲載までのスケジュール、審査、広告料など) ・上記に伴う市の条例の改正
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<p>【収益UP】 収益合計:252万(税抜・契約期間3年間の総合計)※平成31年2月1日時点</p> <p>【知名度UP】 全国初事業・有名企業との契約等の話題性から各種メディアで報道され、他自治体からの多数の照会があった。市のSNSは過去最高の閲覧数を記録。</p> <p>【イメージUP】 マイナスイメージの下水道を「親しみや魅力的」なイメージへ転換。マンホールへの興味をきっかけに、その下に広がる下水道の大切な役割を考えていただく機会となった。</p>
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>新規契約の獲得。 継続して使用料を得るためには、広告媒体としての価値をアピールし続ける必要がある。契約業者のニーズなどからさらなる内容の充実を検討し、より魅力的な事業展開を目指す。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用:なし 時間:約1年間 人員:5名</p>

【テーマ】 “ゼロ”円「消防広報」～中原消防署は地域の皆さんから大人気!?～

問	内容
今回の提案を行ったきっかけ	消防の広報について、これまでにないような目新しい、しかも、親しみやすい効果的な広報を実施していく必要性があり、中原消防署の好立地を活かし、市民を消防署へ呼び込む・市民の目を惹くような広報活動を実施するため。
今回の提案の具体的な取り組み内容	<p>【取り組み1】 名付けて「スポーツチームとコラボしよう。」 川崎市では川崎をホームタウンとして活躍している企業スポーツのトップチームを「かわさきスポーツパートナー」として認定し、川崎市のイメージ向上につなげている。 ①女子バレーボールのトップチームを有する日本電気(株)女子バスケットボール ②アメリカンフットボールのトップチームを有する富士通(株) これら企業に協力をいただき、火災予防運動中の消防フェア等のイベントを企画し、消防広報活動に協力をいただいている。</p> <p>【取り組み2】 名付けて「区民を消防署へ呼ぼう(予防)。」 中原区では、区役所、警察署、消防署の3機関が連携し、小学3・4年生を対象に「ぐるぐるツアー」というイベントを開催している。これは、「夏休み自由研究応援企画ツアー」と題して開催しており、各機関をグループで見学・体験をするもので、参加費は無料で多くの応募があるため、抽選となっている。</p> <p>【取り組み3】 名付けて「庁舎を有効活用しよう。」 中原消防署は駅や商業施設にも近く、通勤、通学など、小学生から社会人まで多くの区民が消防署前や庁舎横の通路を利用している。そこで、人目に付きやすい庁舎横の通路に手作りの掲示板を設置した。また、庁舎の前面にも横断幕を多数設置しており、庁舎を有効活用した消防広報活動を実践している。さらに、庁舎の玄関、受付は消防署の顔でもあり「目立たない」、「入りにくい」などのイメージを払拭し、「明るい」、「入りやすい」中原消防署を目指して、消防広報活動につなげることを考えた。</p>
提案を具体的にどのように実施したのか	上記、今回の提案の具体的な取り組み内容と同様。
提案によりどのような効果がでたのか	<p>①中原消防署が推進する火災予防広報と、企業スポーツのPR(選手、マスコット)に、大きな相乗効果があった。</p> <p>②アンケート結果の中で、参加した保護者からは、「消防署に親しみを覚えた」との意見もいただいている。</p> <p>③元中原消防団長作成の「火の用心 ちょうちん」と職員作成の折り紙の花を無料で配布しており、学校帰りの子どもたちが多く訪れるようになった。この「ちょうちん」と花のおかげで多くの区民が消防署内に訪れるようになった。</p> <p>④インフォメーションディスプレイの使用は、外部電源さえ確保できれば、持ち出して使用することも可能で、9月9日、グランツリー武蔵小杉において、救急の日に伴うフェア開催時に使用した。</p>
提案を実施するにあたって解決すべき課題	普段から区民とコミュニケーションを図り、協力関係や信頼関係を築くことができているかなどが課題であり、このことを解決することにより、自然と相手方から「協力をしたい」、「消防署と一緒に何かをしたい」との申し出が多くなった。
提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員	費用:なし 時間:2年間 人員:2名(予防課予防係員8人配置)

相模原市(神奈川県)

【テーマ】 清掃工場から発生する 焼却灰の直接埋立ゼロへ

問	内容
今回の提案を行ったきっかけ	相模原市は、新型炉と従来炉の2つのごみ焼却炉を有しており、従来炉の焼却灰は新型炉に運搬し、減量化・スラグ化を行っているが、一部はスラグ化できず、最終処分場に埋め立てていた。しかし、最終処分場に埋め立てられる量には限りがあることから、埋立量を減らし、最終処分場の延命化を図るため。
今回の提案の具体的な取り組み内容	従来炉から持ち込まれた焼却灰を再焼却するまでのプロセスを変更し、従来炉の焼却灰の全量を新型炉で再焼却し、スラグ化できるようにした。
提案を具体的にどのように実施したのか	他の自治体のごみ焼却炉の運用方法を研究し、埋め立てた焼却灰を掘り起こして再焼却しスラグ化している自治体の運用方法を参考に、持ち込まれた焼却灰を再焼却するまでのプロセスを見直した。
提案によりどのような効果がでたのか	最終処分場の埋め立て量が2,600トン削減され、埋立されていた金属も回収できるようになったことで、金属を売却して年間約260万円の収入が得られるようになった。また、再焼却までのプロセスの変更により使わなくなった機器等の整備費用(約6,000万円/4年に1回)を削減できた。
提案を実施するにあたって解決すべき課題	焼却炉メーカーの担当者とも相談しながら、焼却炉の仕様を十分に確認し、使用している焼却炉で他の焼却炉と同様の手順が適用できるかを確認するとともに、試行期間を設けて実際にプロセスの変更が可能かも確認する必要がある。
提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員	費用:なし 時間:約6ヶ月 人員:4人

【テーマ】 災害時の初動対応

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>近年、日本全国で地震、豪雨などさまざまな自然災害が発生している。幸いにも名古屋市は大きな災害に見舞われてはいないが、それゆえに職員の災害に対する経験や知識が浅く、いざ災害が発生した際に、防災担当者以外の職員でも迅速かつ的確に初動対応できるかどうか懸念があったため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に参集した職員がまず行うべき事項に特化した「災害時初動対応マニュアル」を策定した。 ・職員の防災意識や、災害対応力を高めるために、研修や操作訓練を実施した。
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の際にも視覚的に頭に入りやすいように、写真や図などを多く取り入れた視覚的に分かりやすいマニュアルを策定した。 ・平成30年度中に各種設備の操作訓練やマニュアルを活用した所属内・階級別研修等を定期的実施した。
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい初動に特化したマニュアルを策定したことにより、防災担当者以外でも震災時の初動において何をすべきかが明確になった。 ・各種設備の操作訓練をした事により、防災担当者がいなくても迅速に初動体制がとれるようになった。 ・研修や訓練の参加者の満足度は94%以上に上り、災害時の対応についての理解が深まったと認識している。
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>今回の提案内容は一部の区局でのみ実施していることなので、他所属にも知識等を共有し、名古屋市の全職員がさらに災害対応力や防災意識を高めていく必要がある。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用:なし 時間:12ヶ月間(研修、訓練) 人員:2人(防災担当者で内容検討、実施)</p>

【テーマ】 定形外郵便物の料金値上げへの対応

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>市・県民税特別徴収税額通知書は料金値上げの対象となる角型0号(B4サイズ相当)の封筒で発送しており、約242万円の郵送料金の増額が見込まれた。これを回避するため、税額通知書を値上げ対象でない角型2号(A4サイズ相当)の封筒で発送する必要があったため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<p>これまで、法令に基づいてB4サイズで作成し、折らずに角型0号の封筒を使用し発送していた税額通知書のサイズを、角型2号の封筒に封入できるように見直した。</p>
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<p>B4サイズの縦幅はA4サイズの縦幅より短いため、これまでのB4サイズの税額通知書を角型2号の封筒の横幅に合わせて二つ折りにし封入するだけでは、税額通知書が封筒内で上下にずれてしまい、封筒窓枠から税額通知書に記載されている宛名が見えなくなる。このため、税額通知書の縦幅を角型2号の封筒に合うように長くするよう仕様書を変更した。</p>
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<p>税額通知書と封筒作成にかかる費用は90万円増加したが、税額通知書のサイズを見直し、値上げの対象とならない角型2号の封筒を使用することで、郵送料金242万円の値上げを回避できた。結果は、全体で152万円の経費を削減できた。</p>
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>税額通知書のサイズは法令でB4サイズ相当と決まっており、縦幅を長くすることは認められていない。そこで、長くした部分はミシン目で切り離しできるようにし、切り離せばB4サイズになるようにした。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用:90万円(仕様変更) 時間:2週間程度(仕様の変更) 人員:1人</p>

【テーマ】 3Wによる好循環成長モデルの風土化

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>農業支援課は、風通しもよく課題を共有できる環境が整っているが、業務改善サイクルを効果的に回すために、どのようにアクションを起こすかが課題と感じたため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の疑問や課題(大小を問わない)を、その都度仲間と改善し、喜びを分かち合う。 Why(何故を追求):問題に対し、何故を追求し、課題を設定し、それを改善する。 わい(わいわいやる):業務改善というものを難しく考えず、気楽に仲間とわいわい解決する。 わーい(喜びを分かち合う):仕事時間の削減、市民サービスの向上、年休の取得増でうれしい。喜びを仲間と分かち合う。 ・業務改善ボードを設置し、見える化を図る。成果を仕事の削減時間に設定。 ・疑問や問題など課題を設定し、課題を共有し、改善風土の好循環を行う。
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<p>所属長の承認を受けて成果の数値化及び見える化を行い、改善好循環の取り組みを開始した。</p>
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改善数:40改善提案された ・削減時間:8,189分 ・その他効果 <ul style="list-style-type: none"> <改善好循環成長モデルの風土化> 改善・問題意識UP、個人・組織の能力UP、能力開発イノベーション、他課からの改善提案など <守備範囲拡張によるワークシェア> 個人能力向上によるワークシェア <改善集> 改善取組をまとめた冊子を作成・共有し、新たな改善の創出 <新たな仕事の創出> 削減時間を活用し、新たな仕事(価値)の創出
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>仲間と行う必要がある。一人ではない。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用:なし 期間:6ヶ月(6月~12月) 人員:16人</p>

【テーマ】 窓口業務お助けアイテムの作成

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>収納課には、多くの外国人の方が訪れ、日本語の読み書きが困難な方も多く、対応に時間がとられることから、この問題を解決する必要があったため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも分かりやすいアイコン付きの2階マップを作成した。 ・ふりがな付きの納税証明書交付申請書を作成した。 ・英訳付きの納税証明書交付申請書を作成した。 ・納税証明書見本リストを作成した。
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<p>誰でも分かりやすいアイコン付きの2階マップ(税部門)、ふりがな付きの納税証明書交付申請書、英訳付きの納税証明書交付申請書、納税証明書見本リストの各種案内を作成した。</p>
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の方でもスムーズに納税証明書交付申請書を記入することができるようになった。 ・窓口での各種案内がアイテムを使用することで、効率的かつ分かりやすくなった。
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>「市民税・県民税」や「後期高齢者医療保険料」などの専門用語を英訳した際にどのような表現になるかを、課税担当部署等と統一すべく調整が必要。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用:ほとんどかかっていない。 時間:半年程度(通常業務の合間に行っていたため。) 人員:4名</p>

【テーマ】 ふくそーのお客様対応大作戦！

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>福祉総合支援課の中には「高齢者支援係」、「障害者支援係」、「くらし相談支援係」があり、高齢者、障害者、生活困窮者からの相談及び支援について課内で連携し、取り組みを進めている。福祉の総合相談という業務内容から、お客様の自宅に訪問するため、終日外出していたり、窓口の対応をしたりと離席率が高く、担当者が不在時に伝言が行き届いていないこともあることから、電話をかけたお客様を待たせてしまうことがあったため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<p>担当者の帰庁時間や連絡事項が周知できるように課内に「伝言板」を設置し、担当者が不在でもそこを見れば対応状況がすぐに把握できるようになった。さらに「伝言メモ」も作成し、書く手間が少しでも減るように項目をいくつか振り分け、必要最低限の記入で済むようにひな形を工夫した。電話をしたあとで席を外す場合は、伝言メモを伝言板に貼ることで、宛先不明の電話がかかってきた場合でも折り返し時の対応がスムーズになった。</p>
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<p>上記、今回の提案の具体的な取り組み内容と同様。</p>
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<p>担当者が不在でも、電話をかけたお客様や窓口に来庁されたお客様への対応をスムーズに行うことができ、取次にかかる時間短縮につながった。</p>
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>今回の提案は、新たな取り組みであり、習慣化し、課員に浸透するのに時間を要した。課内会議で周知を行い、各係の改善リーダー(※)から各係員に意識づけを行うことで、課全体のルールとして定着を図った。また、今後は伝言板をデジタル化し、自席にいながらでも、即座に確認できるように工夫を図る。</p> <p>※改善リーダー：東近江市の全体で業務改善運動を実施しており、所属ごとに改善リーダーを選出する。改善リーダーを中心に、各課の課題や問題点の共有、目標設定、改善の手段や方法の検討、改善の実施を進める役割を担う。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用：ホワイトボード(数千円程度) 時間： ・取組検討期間 平成30年7月 ・取組実施期間 平成30年8月から現在まで 人員： ・提案の検討メンバー：福祉総合支援課の課長、参事、3係の改善リーダー(3名) 計5名 ・取り組み人員：福祉総合支援課の全課員(約30名)</p>

高島市(滋賀県)

【テーマ】 再利用で火災ゼロ

問	内容
今回の提案を行ったきっかけ	消防本部予防課では各事業所等への立入検査を強化し、違反是正の改善指導を行っており、事業主等に質の高い行政指導を実施していく上で、職員の知識向上(スキルアップ)を図る必要がある。こうしたことから、予防課職員が効率的に教養並びに防火管理者の消防用設備に対する理解度を深める新たな指導方法を探っていたため。
今回の提案の具体的な取り組み内容	既に解体された市関連建物に設置されていた自動火災報知設備等を再利用し、消防用設備の模型を作製、講習会、研修会に使用し、理解を深めていく取り組みを実施。
提案を具体的にどのように実施したのか	不要な住宅用火災警報器を再利用し、模型住宅に設置して住民広報に役立てた。
提案によりどのような効果がでたのか	防火管理者講習において、実際に火災報知器の動作状況を確認しながら説明することで、受講者側の消防設備の理解度が上がった。また、住宅用火災警報器の模型を用いたことにより、設置場所が分かりやすい等の感想を得ることができた。
提案を実施するにあたって解決すべき課題	防災体験ひろば等において住民に対して広報したが、PRできる機会が少なく、広く周知できたのか課題が残った。
提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員	費用:なし 時間:7ヶ月 人員:5名

【テーマ】 若者たちの野望～文化と働き方改革～

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・五山送り火への参画 文化活動の若手後継者の担い手不足、職員の文化力向上のため。 ・区役所職員の名鑑作成 同じ庁舎内でも顔と名前が一致せず、他所属に業務を聞きたいが聞きづらいため。 ・魅力発信本の作成 観光の分散化、北区の魅力発信のため。
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<p>文化力向上の取り組みとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五山送り火への参画 ・働き方改革の取り組みとして、職員名鑑を作成 ・魅力発信本の作成
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・五山送り火への参画 東大文字保存会に協力をいただき、現地での実際の点火作業や準備作業を毎年2日間かけて体験し、その後ラジオで周知した。 ・区役所職員の名鑑作成 初回作成時のデータをベースに転入職員を追加した。 ・魅力発信本の作成 改革実践メンバーと区内大学の学生・市民と協力し、紹介する各分野の名所を探し、また案内本については、配架場所について工夫した。
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・五山送り火への参画 地域コミュニティの重要性、地域側からのまちづくりの視点、伝統を引き継ぐことの難しさや大切さを学ぶことで、区民への周知・協力体制の確立などができた。 ・区役所職員の名鑑作成 他所属への案内、コミュニケーションが図れるようになった。 ・魅力発信本の作成 有名な観光地以外の魅力を知ってもらえ、観光客の分散化につなげ、渋滞緩和・地域経済への貢献に至った。
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・五山送り火への参画 本来、保存会しか携われない行事のため、参画させていただくための保存会との調整が課題であった。 ・区役所職員の名鑑作成 可能な限り全職員に協力いただくための調整、より各個人の良さが伝わる項目の考案が課題であった。 ・魅力発信本の作成 あまり知られていない観光名所等をテーマに作成しており、取材先の選定にあたる情報収集が課題であった。地元住民や団体と協力し、情報収集を図った。
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・五山送り火への参画 費用：なし 時間：保存会との調整3ヶ月、参画2日 人員：10名 ・区役所職員の名鑑作成 費用：約12千円 時間：9ヶ月 人員：6名 ・魅力発信本の作成 費用：約450千円 時間：9ヶ月 人員：20名

【テーマ】 BINGOでポジティブシンキング

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>日々の業務に追われ、新たな物事へ取り組むことや、本当はこうしたい、こうありたいと思っていることを後回しにしてしまっている。そこで、他人に言われてではなく、自分から目標を設定し、それをクリアすることで、達成感を実感し、「やる気」を向上させることができるのではないかと考えたため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<p>3マス×3マスのBINGO用紙を作成・配布し、中央を除く8マスに特に縛りを設けず目標を記入する。同時にBINGO数に応じた自分へのご褒美を記入し、達成感を実感することで、「やる気」の向上を図った。</p>
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<p>部を横断する5人の職員でチームを結成。各職員の所属部署において、BINGO用紙を配付して取り組みを実施した。実施期間終了後にはアンケートをとり、当該取り組みの効果検証を行った。</p>
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<p>アンケート結果から、目標の達成・未達成に関わらず、9割以上の職員が取り組み期間中に目標を意識することができたと回答があり、一定の効果があつたことが伺える。</p>
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>目標設定には縛りを設けず自由設定としていたが、自由だと目標を考えるのが難しいといった意見も見られたため、何らかのテーマを設けて実施してもよかつたのではないかと感じられる。 また、継続して実施することでマンネリ化することが懸念されるため、目標設定のテーマを毎回変更して実施すると、より効果的であると考えられる。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用：庁内発表会を実施するための会場使用料 会議室 市民会館4階大会議室 使用料 8,760円 【内訳】・会場5,200円 ・プロジェクター500円 ・スクリーン500円 ・ワイヤレスマイク1,000円(2本) ・暖房1,560円(会場使用料の3割) 時間：3ヶ月(10月～12月)を取り組み期間 人員：チームメンバー5～6名及び取り組みを実践する職員43名程度</p>

【テーマ】 官民商連携でのアプリ開発による自転車マナー向上の取り組み

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>尼崎市において、自転車関連事故が人身事故全体の4割を占めており、大きな社会課題の一つであったため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナーポイントプロジェクト(市内企業との協働) 交差点で一時停止をするとポイントがもらえるアプリケーションを開発した。 ・チャりんこ恋来大作戦(商店街との協働) 商店街内での押しチャリ(自転車を降りて、押し歩きをすること)を当たり前にするきっかけとして「押しチャリンピック」を開催。
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナーポイントプロジェクト 市内企業の方と同テーマで尼崎市が主催するソーシャルビジネスのコンペへの出場をきっかけに、企業側でアプリに取り組んでいただき、昨年度実証実験をするまでに至った。 ・チャりんこ恋来大作戦(押しチャリンピック) 押しチャリを競う競技「押しチャリンピック」を開発し、実行委員会形式にて商店街内で大会を実施している。(今年で3回目)
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナーポイント さまざまなメディアに取り上げていただき、高い関心を得ている。また、参加者の方からは、「マナー向上の意識につながった」との評価があった。 ・押しチャリンピック 商店街内の通行に際し、自転車を押す人が増えてきた。
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>今回の提案は組織で行っておらず、あくまで任意な活動として行ってきたため、実際の予算化など内部調整が今後の課題と感じている。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナーポイント 費用：現時点では行政側の負担なし 期間：開発には相当の期間がかかった。 人員：2名(参加している職員) ・押しチャリンピック 費用：なし(商店街、協賛企業で負担) 期間：イベントの準備2ヶ月 人員：2名(イベント時は多数のスタッフが必要)

【テーマ】 丹波篠山カイゼン自慢

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>観光部署ならではの改善として、丹波篠山にくる観光客の方をお出迎えできるような雰囲気を整えるため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<p>お客様に向けた事務所のレイアウトづくり。</p>
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<p>【視覚対策】 ・置いているパンフレットを整理し、パンフレット棚にタイトルマグネットを貼った。 ・パンフレットラックをデコレーションした。 ・四季の写真を壁に貼った。 【視覚対策＋機能性向上】 ・ファイル棚の扉をのれん風にした。 【特産物PR】 ・冬の味覚ぼたん鍋の食品サンプルを作製しカウンターに飾った。</p>
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<p>・どこにどのパンフレットがあるかが一目で分かるようになった。 ・ファイル棚の扉をのれん風にすることでファイルが取り出しやすくなった。 ・事務所のレイアウトを変えることで、お客様をおもてなしするような雰囲気づくりができた。</p>
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>作成するものがある場合、人員の確保の必要、時間がかかる。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用:なし 時間:1ヶ月(ただし、レイアウトづくりは改善後も通年行っている。) 人員:6名(最低2名以上は必要)</p>

岩国市(山口県)

【テーマ】 Let's try it! ~英語でスムーズ、犬の登録~

問	内容
今回の提案を行ったきっかけ	岩国基地の米軍関係者の増加に伴い、飼い犬の登録も増加傾向にあったが、職員の英語への苦手意識から、その都度、通訳を呼んで対応するなど、お客様を待たせ、不安にさせてしまっていたため。
今回の提案の具体的な取り組み内容	所管部署において、費用や時間がかからないことや、職員の苦手意識の克服を念頭に取り組みを検討し、申請書や必要な文章をあらかじめ英訳した。
提案を具体的にどのように実施したのか	これまで日本語表記のみだった登録申請書について、英語併記の様式とした。また、よく使う文章はあらかじめ通訳に依頼して英訳した例文集を作成し、指差しで対応できるようにした。
提案によりどのような効果がでたのか	全体の約3割を占める外国人の犬の登録申請について、1件当たりの所要時間が、これまでの10分から5分に短縮された。また、英語を発音しなくてもいい環境を整えたことにより、英語に苦手意識を持つ職員も戸惑わずに手続を行えるようになった。
提案を実施するにあたって解決すべき課題	例文にないものには対応できないため、職員の英語でのコミュニケーション能力の向上は必要である。
提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員	費用:なし 時間:1ヶ月(例文の準備・英訳に要する時間) 人員:2名

北九州市(福岡県)

【テーマ】 教職員用WEBサイト『kitaQせんせいチャンネル』による効果的・効率的な人材育成と業務改善

問	内容
今回の提案を行ったきっかけ	業務改善が重視される中、北九州市では教員の大量採用時代を迎え、授業の質を初め教員の資質の向上のための時間の保障も求められており、この相反する課題を解決するため。
今回の提案の具体的な取り組み内容	「kitaQせんせいチャンネル」を開設し、授業の準備や職場内研修に有益な情報を精選した上で提供し、個々のニーズにあった授業準備や効果的な職場内研修をいつでも、どこでも、何度でもできるようにした。
提案を具体的にどのように実施したのか	WEB研修動画や授業づくり動画を作成するなど、さまざまなコンテンツを準備し、学校現場で幅広く活用できる内容とした。
提案によりどのような効果がでたのか	今までは個々の情報収集力に委ねられていた授業や職場内研修であったが、「kitaQせんせいチャンネル」により、最先端の教育情報や北九州市の先輩教員の優れた実績の共有化が図られ、効果的・効率的な授業準備や教員の人材育成が可能になった。
提案を実施するにあたって解決すべき課題	「kitaQせんせいチャンネル」を立ち上げるにあたっては、さまざまなコンテンツを作成する必要がある、時間と労力、予算が必要である。
提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員	費用：平成30年度予算額 600万円、令和元年度予算額 300万円 既存のWebサイトで、さまざまな人がかわっており、時間、人員の算出は困難。

久留米市(福岡県)

【テーマ】 無償で作成！「ごみ分別辞典」を久留米市全域に。

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>平成28年度より新18種分別収集(久留米・城島・三潨地域)を開始したことに伴い、分別方法を市民に周知するため、「ごみ分別辞典」を同地域に全戸配布し、説明会等でも使用していた。しかし、平成29年10月のペットボトルの分別方法変更により、紙面内容を修正する必要があることや、分別方法が異なる田主丸・北野地域版がないといった問題があったため。</p> <p>※久留米市は、平成17年に旧久留米市と城島・三潨・田主丸・北野の4町が合併しており、田主丸、北野地域でごみ分別方法や回収方法が現在でも異なっている。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<p>これまでの分別辞典は3年間の保存版として作成していたが、向こう5年間は分別方法の変更は見込まれないため、平成31年度から5年間の保存版として、久留米地域(城島・三潨含む)、田主丸地域、北野地域版の3パターンを無償作成することとした。</p>
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<p>前回作成のノウハウを生かし、紙面構成・紙質変更による軽量化等の改善を加え、利用者視点に立ち「見やすく長く大切に使って欲しい」の思いを込めた冊子を完成させた。また、事業者との協働発行により、市内事業所の広告を掲載することで無償作成とした。</p>
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<p>これまで、久留米地域(城島・三潨地域含む)のみ発行していたが、田主丸・北野地域についても新たに作成したことで市民満足度の向上を図ることができた。また、経費面でも、市内事業者の広告を掲載することで無償作成となり、印刷製本費(40円×151,000部×1.08=6,523千円)を削減した。さらに、5年間の保存版として活用できるような紙面内容としたことで、作成に係る事務作業を削減した。</p>
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>広告について、産業廃棄物の業者の広告が多いという偏りがあったため、その偏りが生じないようにする必要がある。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用: 事業者との協働発行により、市内事業所の広告を掲載することで無償作成 時間: 1ヶ月間程度 人員: 3人(久留米地域1人、田主丸地域1人、北野地域1人)</p>

大分市(大分県)

【テーマ】 未来のカイゼン運動をみんなで考えてみた ～OITAカイゼンサミット2019から得たもの～

問	内容
今回の提案を行ったきっかけ	大分市のカイゼン運動が始まって10年目を迎えたが、「まだ成果が出ていない等の理由で庁内発表に協力してくれる課が減った」、「時間外業務が多く、働き方改革も叫ばれる中、追加業務を命令できない」、「人力的な余裕がない」、「似たような内容のカイゼン案ばかり繰り返している」など多くの問題を抱えていたため、カイゼン運動の今後を見据え、取組内容を見直す必要があったため。
今回の提案の具体的な取り組み内容	カイゼン運動をカイゼンするためのアイデアを職員から集めるため、職員約100名を交えてワールドカフェ(※)開催した。 ※ワールドカフェ: 会議室で日々繰り返される機能的な会議よりも、カフェで行うようなオープンで自由な会話を通してこそ、生き活きとした意見の交換や新たな発想の誕生が期待できるという考え方に基づいた話し合いの手法。
提案を具体的にどのように実施したのか	ワールドカフェでは「あなたが改善し続けるために必要なものはなんでしょう」、「今のカイゼン運動に足りないものは何でしょう」、「カイゼン運動の改善策を考えよう!」の3つをテーマとし、少人数に分かれたテーブルで、他のテーブルとメンバーをシャッフルしながら自由な対話を行うことで、カイゼン運動をカイゼンするためのアイデアを集めた。 ワールドカフェの進行に当たっては、自治体改善マネジメント研究会理事で日本ファシリテーター協会会員でもある福岡市職員の吉崎氏にアドバイザーとしてご協力いただいた。
提案によりどのような効果がでたのか	庁内大会に参加した職員から、カイゼン運動をカイゼンするためのヒントとなるさまざまな意見が出された。また、カイゼン運動を自分ごととして取り組む意識の醸成につながった。
提案を実施するにあたって解決すべき課題	ワールドカフェを進行する上で重要となるファシリテーターを誰が行うのか。また、必要とするアイデアを導くためのテーマの設定が課題となる。
提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員	費用: 講師やアドバイザーが必要であれば、その招聘旅費 時間: 準備のための会議を3回開催(1回当たり1時間半程度)、リハーサル2回(半日×2) 人員: 企画課職員(3名)及び庁内の職員(カイゼンサポーター: 14名)により実施

都城市(宮崎県)

【テーマ】 三セクフェニックスプロジェクト

問	内容
今回の提案を行ったきっかけ	第三セクターの活用が十分にできていないこと、合併して類似の第三セクターが存在している状況があったため。
今回の提案の具体的な取り組み内容	第三セクターの活用が十分にできていないこと、合併して類似の第三セクターが存在している状況があったため、第三セクターに横串を通し、交流の場を創出した。
提案を具体的にどのように実施したのか	部門ごとの連携会議を実施し、都城市がファシリテーターとして参加した。
提案によりどのような効果がでたのか	仕入先共有によるコスト削減、技術やノウハウの共有、連携した新イベントの開催等が生まれ、最終的には4つの第三セクターの合併につながった。
提案を実施するにあたって解決すべき課題	最初から大きな目標を立てるのではなく、小さな成功体験を積み重ねる必要がある。
提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員	費用、時間、人員については、さまざまな部署の職員がかかわっており、積算困難。

【テーマ】 婚姻・出生届提出時の記念撮影ブースの設置

問	内容
<p>今回の提案を行ったきっかけ</p>	<p>人口が都市部に集中する中で、出水市で生活していただけることに感謝して、結婚や出産といったライフイベントを思い出に残す手助けをしたいという思いがあったため。</p>
<p>今回の提案の具体的な取り組み内容</p>	<p>本庁と支所にフォトブースの設置と合わせて、オリジナル婚姻届及び出生届の作成。</p>
<p>提案を具体的にどのように実施したのか</p>	<p>本庁と支所にフォトブースを設置するため、予算要求し、庁舎管理をする課長等と協議を重ねた。また、有志の若手職員で勤務時間外に小物作成や設置を行った。</p>
<p>提案によりどのような効果がでたのか</p>	<p>婚姻届提出時に撮影していただき、とても喜んでもらった。 (令和元年5月1日には、若手職員で撮影の手伝いをさせてもらい、直接感想をいただくこともあり、実感した。)</p>
<p>提案を実施するにあたって解決すべき課題</p>	<p>・設置場所やどのようなフォトブースにするか、最終的な決裁をどの部署の誰にもらうのか、予算要求をどの部署が行うのか、小物作成や設置作業をいつ誰がするのかなどを整理する必要がある。</p>
<p>提案を実施するにあたって、必要となる費用、時間、人員</p>	<p>費用:委託料 81,000円、備品購入費 66,096円、消耗品費 73,782円 合計 220,878円 時間:1年 人員:9名</p>

議長会等の動き

(令和元年9月～11月中旬)

会 議 名 全国市議会議長会正副会長会議
開催月日・場所 10月7日 大阪府河内長野市 河内長野市議会全員協議会室
概 要 第221回部会長会議・相談役会議・第217回理事会・第107回評議員会の運営、平成30年度本会各会計決算、平成30年度全国市議会議員互助会会計決算、令和2年度本会一般会計予算の見通し、本会の運営・活動の簡素化・効率化、厚生年金への地方議会議員の加入等について協議が行われ、異議なく了承又は決定された。

会 議 名 令和元年度長崎県市議会議長会行政視察
開催月日・場所 10月15日～17日 東京都渋谷区、青森県青森市
概 要 1 視察都市
(1) 渋谷区 10月16日(水)
(2) 青森市 10月17日(木)
2 調査項目
(1) 新市庁舎における議会施設等の概要について (渋谷区)
(2) 議会ICT化の取組みについて (同上)
(3) インバウンド観光振興について (青森市)
(4) 青森市文化観光施設「ねぶたの家・ワ・ラッセ」について (同上)

会 議 名 令和元年度中核市議会議長会第2回総会
開催月日・場所 10月23日 東京都 学士会館
概 要 事務報告の後、国等への要望事項「安全・安心に暮らせるまちづくりへの支援について」、「令和元年台風第19号による大規模災害に関する緊急要望」を原案のとおり決定した。
関係省庁等に対しては、役員市が要望活動を行い、地元選出国會議員への要望活動は、各市において個別に実施することを了承した。
なお、「令和元年台風第19号による大規模災害に関する緊急要望」の要望活動については、役員市及び被害を受けた市のうち参加を希望する市と日程調整の上、実施することを了承した。

令和2年度負担金については、現行どおり、1市当たり5万円とすることで決定した。

また、令和2年度の役員選任について、会長―松山市、副会長―越谷市・呉市、監事―富山市・豊中市、相談役―いわき市と決定した。

最後に、総務省自治行政局市町村課長 田中 聖也氏から「広域連携を取り巻く現状と課題について」と題して講演が行われた。

会 議 名 令和元年度九州市議会議長会第3回理事会（臨時総会代行）
開催月日・場所 10月24日 長崎市 ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション
概 要 役員の補欠選任について承認した。事務報告、全国市議会議長会部会長会議の経過報告がなされた。

また、各支部提出議案16件について審議し、いずれも原案のとおり決定した。決定された案については要望書を作成し、関係省庁及び各政党に対しては会長市によって、九州各県選出の国会議員に対しては各支部で分担し、実行運動を行うこととなった。

また、11月6日に東京都で開催される全国市議会議長会第107回評議員会に、九州部会から「新たな過疎対策法の制定について」及び「九州における高速交通網の整備促進等について」の2議案を正議案とし、「防災・減災事業に対する財政支援について」を予備議案として提出することに決定した。

次回理事会については、八代市で開催する旨の報告がなされた。

令和2年度九州市議会議長会の各市負担金の算出は、例年同様、平等割及び人口割によることが説明され、了承した。

会 議 名 全国市議会議長会第221回部会長会議
開催月日・場所 10月28日 大分県大分市 ホテル日航オアシスタワー
概 要 相談役会議・第217回理事会・第107回評議員会の運営、第107回評議員会会長提出議案、平成30年度本会各会計決算、令和2年度本会一般会計予算の見通し、全国市議会共通議員章規程の一部改正（案）、全国市議会共通事務局職員章規程の一部改正（案）、本会の運営・活動の簡素化・効率化等について協議が行われ、異議なく了承又は決定された。

会 議 名 令和元年度九州市議会議長会支部長・相談役会議
開催月日・場所 11月5日 東京都 都市センターホテル
概 要 第3回理事会で決定した16件の要望事項に係る実行運動について協議した。関係省庁及び各政党に対する要望活動については、会長市に一任し、九州各県選出の国会議員への要望活動は各支部で行うことについて了承した。

全国市議会議長会第107回評議員会への提出議案については、「新たな過疎対策法の制定について（神崎市説明）」及び「九州における高速交通網の整備促進等について（串間市説明）」の2題とすることを確認し、了承した。

会 議 名 全国市議会議長会第217回理事会
開催月日・場所 11月6日 東京都 全国都市会館
概 要 役員補欠選任を行い、部会長に田村直義長岡京市議会議長を選任した後、第107回評議員会の運営、第107回評議員会会長提出議案、平成30年度本会各会計決算、令和2年度本会一般会計予算の見通し、本会の運営・活動の簡素化・効率化について了承するとともに、全国市議会共通議員章規程の一部改正及び全国市議会共通事務局職員章規程の一部改正について決定した。

会 議 名 全国市議会議長会第107回評議員会
開催月日・場所 11月6日 東京都 都市センターホテル
概 要 一般事務報告及び地方行政委員会等の各委員会報告を了承した後、議案審議を行った。会長提出議案5件（「多様な人材の市議会への参画促進に関する決議（案）」、「地方創生・地方分権改革の推進及び地方税財源の充実確保に関する決議（案）」、「地域医療の確保に関する決議（案）」、「頻発・激甚化する大規模災害等からの復旧・復興対策及び防災・減災対策等に関する決議（案）」、「東日本大震災からの復旧・復興に関する決議（案）」）及び部会提出議案18件について原案のとおり決定し、関係機関に要望することに決定した。

また、次の事項について協議を行い、認定又は了承した。

- (1) 平成30年度各会計決算について
- (2) 令和2年度における「都市問題に関する特別委員会(仮称)」の運

営について

- (3) 令和2年度一般会計予算の見通しについて
- (4) 運営・活動の簡素化・効率化について

会議名 **第31回都道府県庁所在都市議長会定期総会**
開催月日・場所 11月7日 水戸市 ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸
概要 全国各ブロックの理事選任の後、決議案について協議し、「大規模自然災害からの復旧・復興及び防災・減災対策の充実強化に関する決議(案)」及び「地方創生の推進及び地方税財源の充実確保に関する決議(案)」を原案のとおり決定し、会長市から関係省庁等へ要望することとなった。
次期開催市は、鹿児島市に決定した。
また、東京大学大学院法学政治学研究科教授 金井 利之氏から「自治体議会の取扱説明書」と題して記念講演が行われた。

会議名 **第38回離島振興市町村議会議長全国大会**
開催月日・場所 11月13日 東京都 ホテルルポール麹町
概要 議長団選出の後、要望事項、決議、特別決議及び実行運動方法について協議し、決定した。
翌日、離島振興に関する要望事項について、長崎県関係国会議員に対し、要望活動を実施した。

会議名 **厚生年金への地方議会議員の加入を求める全国大会**
開催月日・場所 11月14日 東京都 ホテルグランドアーク半蔵門
概要 全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会の三団体の主催により開催され、地方議会における多様な人材確保等の観点から、厚生年金へ地方議会議員が加入できるよう、所要の法整備を早期に実現することを強く求める大会決議案が採択された。
採択された決議文については、全ての国会議員へ配付する旨の報告が行われるとともに、各地方議会関係者から地元選出国會議員に対して要望活動を行なうよう要請がなされた。
同大会終了後、三団体代表により政府、政党代表等に対する要望活動が行われた。

委員会だより

(令和元年9月～11月中旬)

※定例会中の常任委員会は除く。

【議会運営委員会】

- 開催日 9月9日
- 事 件 1 追加付議事件について
2 追加議案の委員会付託分類について
3 議会関係付議事件について
4 請願の取り扱いについて
5 陳情の取り扱いについて
6 選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙について
- 概 要 1 について説明を受け、了承した。
2～6 についてそれぞれ協議し、決定した。

- 開催日 9月17日
- 事 件 1 追加付議事件について
2 追加議案の委員会付託分類について
- 概 要 1 について説明を受け、了承した。
2 について協議し、決定した。

- 開催日 11月18日
- 事 件 1 令和元年第5回長崎市議会定例会について
2 令和元年第5回長崎市議会定例会の運営について
3 選挙管理委員会の委員及び補充員の候補者について
- 概 要 1 について説明を受け、了承した。
2及び3 についてそれぞれ協議し、決定した。

〔行政視察〕

派遣委員	出張期間	視察都市・調査項目
武次 良治、木森 俊也、 五輪 清隆、相川 和彦、 山崎 猛、筒井 正興、 福澤 照充、平野 剛、 佐藤 正洋（議長）、 梅原 和喜（副議長）	9月24日 ～26日	越前市：議会活性化の取り組み 小牧市：議会活性化の取り組み 寝屋川市：災害時の議会の対応 議会活性化の取り組み

【総務委員会】

- 開催日 11月7日、8日
- 事 件 1 第132号議案「平成30年度長崎市一般会計歳入歳出決算」（委員会所管分）
2 第138号議案「平成30年度長崎市財産区特別会計歳入歳出決算」
3 所管事項調査（理財部）「市有地の処分について」
- 概 要 1及び2について内容検討の結果、いずれも認定すべきものと決定した。
3について調査を行った。

【教育厚生委員会】

- 開催日 10月28日、29日、30日
- 事 件 1 第132号議案「平成30年度長崎市一般会計歳入歳出決算」（委員会所管分）
2 第139号議案「平成30年度長崎市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算」
3 第134号議案「平成30年度長崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算」
4 第142号議案「平成30年度長崎市診療所事業特別会計歳入歳出決算」
5 第143号議案「平成30年度長崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算」
6 第144号議案「平成30年度長崎市立病院機構病院事業債管理特別会計歳入歳出決算」
7 第140号議案「平成30年度長崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算」
- 概 要 1～7について内容検討の結果、いずれも認定すべきものと決定した。

【環境経済委員会】

- 開催日 10月28日、29日
- 事 件 1 第132号議案「平成30年度長崎市一般会計歳入歳出決算」（委員会所管分）
2 第133号議案「平成30年度長崎市観光施設事業特別会計歳入歳出決算」
3 第136号議案「平成30年度長崎市中央卸売市場事業特別会計歳入歳出決算」
- 概 要 1～3について内容検討の結果、いずれも認定すべきものと決定した。

【建設水道委員会】

- 開催日 10月28日、29日
- 事 件 1 第107号議案「平成30年度長崎市水道事業会計決算」
 2 第108号議案「平成30年度長崎市下水道事業会計決算」
 3 第141号議案「平成30年長崎市生活排水事業特別会計歳入歳出決算」
 4 第135号議案「平成30年度長崎市土地取得特別会計歳入歳出決算」
 5 第137号議案「平成30年度長崎市駐車場事業特別会計歳入歳出決算」
 6 第132号議案「平成30年度長崎市一般会計歳入歳出決算」（委員会所管分）
- 概 要 1～6について内容検討の結果、いずれも認定すべきものと決定した。

【交通対策特別委員会】

- 開催日 9月18日
- 事 件 観光地への二次交通について
- 概 要 上記事項について、理事者から説明を受け、質疑を行った。
- 開催日 11月5日
- 事 件 交通空白地域の解消対策について
 通学路等の交通安全対策について
- 概 要 上記事項について、理事者から説明を受け、質疑を行った。

〔行政視察〕

派遣委員	出張期間	視察都市等・調査項目
西田みのぶ、岩永 敏博、 野口 達也、東 竜也、 深堀 義昭	10月15日 ～17日	石垣市：石垣市交通安全計画 石垣島のみちづくり基本計画 内閣府沖縄総合事務局：八重山 MaaS 化事業 北谷町：自動走行システムを活用した交通ネットワークの形成
土屋 美紀、内田 隆英、 永尾 春文、中村 俊介、 林 広文	10月15日 ～17日	みなと観光バス（株）：神戸市北区筑紫が丘における 自動運転実証実験 大都市近郊型 MaaS 西宮市：西宮市総合交通戦略 輪島商工会議所：次世代交通対策事業「WA-MO」

【周辺地区まちづくり対策特別委員会】

開催日 9月18日
 事件 周辺地区におけるインフラ整備と道路の整備状況について
 概要 上記事項について、理事者から説明を受け、質疑を行った。

開催日 11月6日
 事件 周辺地区の振興策について
 概要 上記事項について、理事者から説明を受け、質疑を行った。

〔行政視察〕

派遣委員	出張期間	視察都市等・調査項目
山口まさよし、池田 章子、 大石ふみき、毎熊 政直、 山谷よしひろ	10月2日 ～4日	岐阜市：岐阜市立地適正化計画 高松市：高松市都市計画マスタープラン 北九州市：北九州市立地適正化計画
柿田 正、奥村 修計、 平 たけし、竹田 雄亮、 久 八寸志	10月1日 ～3日	前橋市：前橋市都市計画マスタープラン イーグルバス(株)：ICTを活用した見える化によるバス運行と地域活性化 福島市：福島市都市マスタープラン

【防災対策特別委員会】

開催日 9月18日
 事件 避難行動要支援者への取り組み状況と課題について
 地域防災力向上について
 概要 上記事項について、理事者から説明を受け、質疑を行った。

開催日 11月6日
 事件 防災対策の今後の取り組みについて
 概要 上記事項について、理事者から説明を受け、質疑を行った。

〔行政視察〕

派遣委員	出張期間	視察都市等・調査項目
梅元 建治、浅田 五郎、 岩永 福子、幸 大助、 吉原 孝	10月15日 ～17日	呉市：今後の防災・減災に向けた取り組み 尾道市：災害後の取り組みと課題 福山市：自主防災組織の現状と課題
向山 宗子、井上 重久、 中里 泰則、中西 敦信、 山本 信幸	10月2日 ～4日	上郡町：気象防災システムの活用 加古川市：災害情報伝達手段等の高度化事業 金沢市：災害現場におけるドローンの活用

図書室だより

(令和元年10月～令和元年11月)

新刊図書

図書名	編著者名	発行所
公共サービスの産業化と地方自治	岡田 知弘	自治体研究社
公契約条例がひらく地域のしごと・暮らし	永山 利和 中村 重美	自治体研究社
人口減少時代の自治体政策 市民共同自治体への展望	中山 徹	自治体研究社
実践 地域防災力の強化 —東日本大震災の教訓と課題—	島田 明夫	(株)ぎょうせい
自治体法務の基礎から学ぶ 指定管理者制度の実務	森 幸二	(株)ぎょうせい
地域ブランドとシティプロモーション	牧瀬 稔	(株)ぎょうせい

調 査 資 料 報

〔令和元年 11 月〕

編集・発行 長崎市議会事務局議事調査課
〒850-8685 長崎市桜町 2 番 35 号
TEL (095) 829-1200
FAX (095) 829-1199